

# 事務部報告

## ご挨拶



事務部長 呉屋 済仁

当院は30年以上にわたり地域の方々から暖かいご支援をいただき、医療活動を通じて社会貢献に邁進し厚い信頼を培ってまいりました。

2019年の日本病院会の調査で全病院の8割超、自治体病院の9割が赤字であると報告がされています。更に我が国では少子高齢化が世界に類を見ないスピードで進展し、人口減という時代に入っています。

この厳しい時代を生き残るには時代の変化に対応できる組織に変わらないといけません。今、猛烈なスピードで世の中が変わっています。

2025年に向けた病院経営の原則は、「質の高い医療提供と継続」であり、このためには「明確な理念、運営方針の存在」のもとに「十分な集客」「費用対効果を意識した運営」そして「優秀な職員の養成」を行い、内部・外部の「顧客満足度」を獲得して一定の利益を確保し、職員・社会へ還元すると共に再生産資金を留保し、制度の変更や環境の変化も勘案して事業を継続する必要があると言われています。

私たち事務部も病院経営のマネジメント役としての重要な役割を担う病院の活性化と地域に求められる病院づくりに取り組んでまいります。

個人的には事務部のトップとして院内外情報の検証による適時、的確、迅速な経営判断を行いつつ地域の中で合併・吸収などの統合も視野に入れ事業拡大と経営に特化した病院運営に取り組む所存です。

## 【総務課】

人 員：事務部長1名　事務長1名　事務次長2名　課長2名　課長補佐2名  
係長6名　主任7名　副主任8名　係員15名　計 44名

概 要：課内には6つの係（経理・庶務・資材・施設・情報システム・医局秘書）を配し、病院の事業計画や資金管理、人事・労務・行政手続き、医療機器・事務備品の調達、施設の保守管理、コンピュータ機器およびITシステムの保守管理、また、医師の学会や専門資格の手続きや把握、初期臨床研修医・専攻医の募集・研修プログラムの管理などの業務を行っています。

目 標：・患者満足度の向上（待ち時間対策・駐車場対策）  
・業務の効率化（時間外労働の短縮・有給休暇の取得率向上）  
・職員の離職率低下（適正な人員配置・教育の充実）

2020年度の取り組み・実績：

- ・新入職員を96名採用した（医師22名・歯科医師1名・薬剤師4名・看護（准看護）師40名・医療技術職15名・介護職4名・事務職10名）
- ・上記のうち、初期研修医10名の採用があった。
- ・コロナ禍で様々な院内行事の縮小、自粛で多大な影響を受けた。特に新入職員の交流が著しく制限され、その促進をどのように行うかが課題となった。
- ・新入職員合同によるオリエンテーションを期間短縮し1日間のプログラムで実施した。
- ・新入職員中間研修を中止した。
- ・3年次職員フォローアップ研修を中止した。
- ・マグロ解体ショーや職員研修旅行（県外・県内）等、多彩な互助会行事を自粛した。
- ・日本医療マネジメント学会へ多職種による発表を自粛した。
- ・日本医療評価機構による第三者評価受審を延期した。
- ・初期臨床研修医9名の修了を認定した。

## 【経理係】

人 員：課長補佐 1名 係長 1名 副主任 3名 係員 3名 計 8名

概 要：経理の主な業務は財務諸表等の作成を行う「経理」、資金の管理及び資金計画等の「財務」、決算申告や納税に係る「税務」と大きく3の役割を行っています。

当院の特徴としては、関連するグループ病院、クリニック等の施設の経理処理を当院で行っています。

病院4施設、クリニック6施設、介護関連施設5施設、その他2施設の計17施設の経理業務を分担し、経理業務を行っています。

目 標：・関連施設との連携強化

- ・内部統制の強化
- ・業務の効率化

2020年度の取り組み・実績：

関連施設が多く連携の重要性が求められる事から、当院及び関連施設での経理業務に係わる内部統制を強化した事により、施設間の連携が強くなっています。

紙ベースで管理していた資料をデータ化した事により、業務の効率化・スペースの確保に繋がりました。

## 【庶務係】

人 員：次長1名      課長1名      課長補佐1名      係長1名  
         副主任2名      一般職5名      合計 11名

概 要：庶務の主な業務として、人事労務管理、福利厚生・安全衛生、各官公庁への行政  
手続等を行っており、職員の働きやすい職場環境づくりに努めています。

また、当病院を中心にして沖縄の関連施設である病院3施設、介護施設3施設、  
クリニック6施設の管理を行うと共に、情報の共有化を図り業務の有効化を図る  
べく業務に取り組んでおります。

- 目 標：・情報の共有化を図り業務の効率化を上げる
- ・人事交流を図り業務内容を統一する
  - ・人事システム・給与システムの導入
  - ・新築移転に伴う「人事労務管理」「行政手続等」の構築

2020年の取り組み・実績：

- ・システム管理を構築し、人事労務管理業務の効率化を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症における職員の労務・体調管理を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の整備。

## 【資材係】

部署長：西江 徳喜（課長補佐）

人 員：課長補佐1名、係長1名、主任2名、事務職1名

概 要：当資材課は、院内で使用するあらゆる物品の流通に関わる位置にあり、各部署への医療材料・一般消耗品・事務用品の安定供給及びコスト削減・使用物品の標準化、定数管理を目標に日々業務を行なっている。また、医療機器の購入、保守契約、委託業者契約、固定資産管理など様々な業務も担っております。

### 1. 物流管理

院内SPDシステムにおける医療材料、消耗品、事務用品の発注から払い出し業務全般。診療科別消費実績、各部署単位での消費実績、定数管理での運用、購入実績からの薬剤集計、消費実績からの薬剤集計、滅菌期限管理業務。棚卸後の定数見直しや変更業務。

### 2. 一般消耗品の発注管理

一般消耗品の発注、払い出し全般、価格交渉

### 3. 手術室、血管造影室、放射線にて使用する高額医療材料の委託管理

持ち込み材料の使用確認。

### 4. マスター管理

SPDシステム・電子カルテのマスター管理  
診療報酬改定、徳洲会グループの価格変動の修正

### 5. 医療機器の購入

新規プロジェクトや新しい医師及び診療科に特化した医療機器の選定・購入・保守契約

### 6. 委託業者契約

人材派遣・リネン・清掃・医療廃棄物・産業廃棄物・一般廃棄物・検査委託など多数

### 7. 固定資産管理

当院で購入した物品（20万円以上）に該当する物を固定資産とみなし、システムにて資産管理

- 目 標：1. 診療報酬改定に伴う医療材料償還引き下げへの価格交渉。  
 2. 一般消耗品の価格交渉、現購入から3%減  
 3. 各部署へ在庫削減  
 4. 長期医療在庫の見直し  
 5. 委託業者契約の見直し  
 6. 医療材料の委託への交渉

2020年度の取り組み・実績：

1. 徳洲会本部が推奨する医療材料への切り替え
2. 一般消耗品、医療材料の価格交渉
3. 各部署の在庫削減
4. 長期医療在庫の見直し
5. 委託業者の契約単価の見直し
6. 診療科別医療材料消費実績の分析

令和2年度消耗品消費実績(診療科別)

	外科	産婦人科	形成外科	歯科口腔外科	耳鼻咽喉科	循環器科(内科)	小児科	消化器科	呼吸器		消費総額										
4月	8,488,944	7%	213,032	0%	31,908	0%	637,641	1%	36,177	0%	48,655,091	40%	249,436	0%	3,702,337	3%	593,783		62,014,566	4月	122,435,182
5月	8,498,375	8%	56,567	0%	32,743	0%	523,843	1%	37,660	0%	49,955,293	49%	199,946	0%	3,387,598	3%	330,270		62,692,025	5月	101,390,923
6月	9,725,613	7%	199,613	0%	102,288	0%	860,831	1%	19,000	0%	63,735,592	45%	329,710	0%	4,796,864	3%	420,580		79,769,511	6月	143,209,482
7月	10,435,712	7%	261,964	0%	38,091	0%	913,504	1%	53,352	0%	76,154,152	54%	296,860	0%	4,010,727	3%	530,383	0%	82,259,033	7月	140,311,844
8月	10,855,117	8%	378,793	0%	37,627	0%	740,876	1%	24,088	0%	63,049,433	48%	365,063	0%	3,439,231	3%	358,447		78,890,228	8月	131,945,543
9月	10,653,982	8%	262,013	0%	68,586	0%	677,555	1%	41,553	0%	57,295,048	43%	283,089	0%	3,114,811	2%	513,653		72,396,637	9月	133,059,424
10月	11,037,719	7%	771,575	0%	89,738	0%	802,057	1%	72,514	0%	79,296,093	51%	559,330	0%	3,540,415	2%	508,319		96,169,441	10月	155,526,583
11月	13,222,065	10%	526,415	0%	37,631	0%	823,040	1%	54,692	0%	60,408,896	47%	446,371	0%	4,244,359	3%	463,505		79,763,469	11月	128,613,007
12月	14,800,285	10%	338,940	0%	33,084	0%	671,601	0%	38,789	0%	64,919,742	43%	506,843	0%	3,886,986	3%	718,314		85,196,270	12月	150,836,060
1月	10,964,763	8%	1,287,846	1%	53,496	0%	779,237	1%	49,647	0%	60,558,539	44%	436,066	0%	3,510,506	3%	685,847		77,640,100	1月	137,843,619
2月	12,632,380	9%	547,791	0%	37,620	0%	477,564	0%	32,807	0%	69,931,460	49%	378,631	0%	4,040,988	3%	447,780		88,079,241	2月	143,592,973
3月	14,279,270	10%	104,895	0%	49,866	0%	667,464	0%	45,417	0%	58,561,356	40%	377,760	0%	3,968,227	3%	826,168		78,054,255	3月	145,064,795
年間費	135,594,225	8%	4,949,444	3%	612,678	0%	8,575,213	1%	505,696	0%	752,520,695	46%	4,429,105	0%	45,643,049	3%				年間消費	1,633,829,435
対前年度		0%		0%		0%		0%		0%		0%		0%						月平均	136,152,453

	心臓血管外科	人工透析科	整形外科	内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	眼科	疼痛治療		前年度対比											
4月	12,561,352	10%	2,997,747	2%	29,676,377	24%	3,271,745	3%	4,546,488	4%	6,292,563	5%	70,287	0%	1,004,057	1%	162,295		60,420,616	前年度対比	+ -11,543,088	
5月	7,162,904	7%	3,219,701	3%	12,881,312	13%	4,126,351	4%	4,887,374	5%	6,033,434	6%	95,461	0%	292,361	0%	87,436		38,698,898			
6月	15,244,665	11%	3,267,533	2%	26,729,945	19%	4,218,314	3%	2,010,079	1%	7,727,146	5%	76,942	0%	1,493,658	1%	2,671,689		63,439,971			
7月	12,107,691	9%	3,349,995	2%	24,140,621	17%	5,744,477	4%	3,118,837	2%	7,959,817	6%	99,986	0%	1,531,387	1%	182,717		58,052,811			
8月	14,419,834	11%	3,431,050	3%	17,592,398	13%	4,114,251	3%	3,937,352	3%	7,889,442	6%	108,192	0%	1,562,796	1%	40,414		53,055,315			
9月	15,096,146	11%	2,998,715	2%	25,083,095	19%	4,753,541	4%	4,590,487	3%	6,821,164	5%	70,823	0%	1,248,816	1%	245,785		60,662,787			
10月	10,009,517	6%	3,307,693	2%	28,958,615	19%	4,670,643	3%	3,482,022	2%	7,032,834	5%	102,413	0%	1,793,405	1%	212,064		59,357,142			
11月	12,386,574	10%	3,303,467	3%	18,499,613	14%	4,148,291	3%	2,520,523	2%	7,046,087	5%	53,307	0%	891,676	1%	189,573		48,849,538			
12月	13,834,391	9%	3,213,425	2%	27,384,844	18%	4,899,399	3%	6,863,875	5%	7,638,102	5%	97,882	0%	1,707,872	1%	98,695		65,639,790			
1月	11,784,481	9%	3,197,618	2%	23,737,805	17%	4,566,530	3%	9,150,417	7%	6,149,125	4%	78,324	0%	1,539,219	1%	28,675		60,203,519			
2月	12,572,657	9%	3,485,283	2%	23,971,603	17%	4,565,024	3%	3,398,306	2%	6,528,343	5%	78,747	0%	913,769	1%	701,210		55,513,732			
3月	26,159,808	18%	4,089,758	3%	19,768,428	14%	4,067,736	3%	2,093,328	1%	9,092,541	6%	113,630	0%	1,625,311	1%	249,569		67,010,540			
年間費	163,340,020	10%	39,861,985	2%	278,424,656	17%	53,146,302	3%	50,599,088	3%	86,210,598	5%	1,045,994	1%	15,604,327	1%						
対前年度		0%		0%		0%		0%		0%		0%		0%								

## 【施設係】

人 員：3名

概 要：施設係は、中部徳洲会病院及び関連施設の 北谷病院、ソフィアクリニック、ハンビークリニック、与勝あやはしクリニック、よみたんクリニック、新都心クリニック、介護老人保健施設おきなわ徳洲苑の建物内に設置してある機械設備、電気、弱電、空調、衛生設備の維持管理を365日（日中）、緊急時の対応を行っています。各設備、法令に基づいた、点検整備、日常点検を行っています。

1. 受水槽・高架水槽清掃（1回/年）
2. 簡易水道検査（1回/年）
3. 環境測定（2回/年）
4. 医療ガス点検（CE1回/年、アウトレット2回/年）
5. 清浄度測定（1回/年）
6. 地下タンク定期点検（1回/年）
7. 第一種圧力容器性能検査（1回/年）
8. 害虫駆除（3回/年）
9. 消防設備点検（2回/年）
10. 防火対象物点検（1回/年）
11. 防災対象物点検（1回/年）
12. ばい煙測定（2回/年）
13. 特殊建築物定期点検（建築1回/3年、設備1回/年）
14. その他各種保守業務

- 目 標：1. アメニティの充実
2. 水道光熱費削減
  3. 患者、スタッフの環境整備等
  4. 災害ゼロ

2020年度の取り組み・実績：

1. 与勝あやはしクリニック改修工事

## 【企画情報室】

人 員：課長1名、主任3名、副主任1名

概 要：情報システム室は、当院におけるサーバー、クライアントPC、多岐にわたる業務システムの管理、導入、職員へのコンピュータ操作指導を担う部署である。

IT技術の医療現場導入により、その活動範囲は拡大している。

### ◎業務内容

情報システム室の主な業務は、院内で使用されるシステム全般の管理及び関連機器やネットワーク機器の保守管理を行っている。

医療現場の状況に即して柔軟な対応を必要とするが、医師・看護師・技師とソフトウェアメーカーとの間に立ち、密接なコミュニケーションにより、円滑な運用を心がけている。それ以外にもデータ管理という重要な役割も果たしている。その主なものがデータのバックアップやウイルス・個人情報漏洩対策等がある。

目 標：・セキュリティ強化・個人情報漏洩対策

・ウイルス対策・パソコン環境整理

2020年度の取り組み・実績：

- ・医師、看護師、技師、事務業務軽減に伴う環境整備
- ・脳波簡易ファイリングシステム(日本光電工業)導入
- ・発熱外来・コロナ対策対応
- ・AI問診システム(Ubie)導入
- ・Newtonsmobile(SSi)導入
- ・新褥瘡管理システム(SSi)導入
- ・調剤ピッキングサポートシステム(ユヤマ)導入
- ・電子カルテ、沖縄津梁ネットワークシステム(沖縄県医師会)接続作業
- ・遠隔読影システム(医知倍)導入
- ・線量管理システム(NOBORI)導入作業
- ・細菌検査システム更新(バイオメリュー社からベックマンコールター社へ移行)作業
- ・新透析システム(SSi)導入作業
- ・評価管理システム(SSi)導入作業
- ・手術室動画システム(デージーエスメディカル)バージョンアップ
- ・与勝あやはしクリニック 電子カルテ導入作業
- ・北谷病院 発熱外来設置対応

## 【医事課】

部署長：高江洲 基樹（次長）

人 員：外来担当 29名

課長補佐1名、主任2名、副主任5名 男性17名 女性12名

入院担当 16名

課長1名、課長補佐1名、係長2名、主任2名、副主任2名 男性9名 女性7名

合計 45名

概 要：・総合受付案内業務：

初診・再診・紹介・保険証確認

診療報酬請求業務（レセプト請求業務）：毎月1日～8日レセプトチェック

9日集計、10日レセプト送信及び月遅れ分提出。

・会計業務：

会計窓口業務・入金処理業務・返金処理業務・未収金管理業務（督促・回収）

・入院業務：

退院会計窓口業務・中間入院請求業務・限度額・高額貸付手続き業務

返戻・査定及管理及び対策（各診療科にフィードバック、再審査請求）

・各担当業務：

文書（診断書・生命保険等）、交通事故、労災、公費（難病・小児慢性疾患等）

生活保護、更生医療・育成医療、患者数統計作成業務、運営会議資料作成、

当直業務、予防接種請求、病院間請求業務。

・施設基準届出（基本診療料・特掲診療料）、DPCデータ作成・提出

目 標：①患者様への接遇向上

②職場環境の改善（残業時間短縮）

③医事業務のスキルアップ

2020年度の取り組み・実績：

令和2年度の診療報酬改定は、全体の改定率がプラス0.55%となったが、改定対策ではなく、新型コロナウイルス感染症の影響もあり経営的にきびしい状況が続きました。

医療機関は、コロナ対策を実施したうえで「新型コロナウイルス感染症に係る主な診療報酬上の臨時的な取り扱い」が、次々に発令され診療改定年度にもかかわらずそれ

以外の特例的な診療報酬は、対策をとるうえでかなり大変な一年でした。また、病院の窓口である医事課では、患者様と職員の安全を守る為、病院全体でいろいろな感染対策をとることによって業務がかなり増え、職員に負担がかかっています。次年度は、感染対策を維持しながら負担軽減を取り組んでいかなければならない。

今年度も引き続き医事課の目標として設定した。職場環境の改善に関しては、医事課は他部署と比べて残業時間が多く、特にレセプト期間中の残業時間が多い、レセプト自体には効率化は進んでいるが、レベルに個人差がある為に新人職員に対して、2年目、3年目の医事職員が勉強会を行うことによって、教える側も勉強することになり、スキルアップにつながるため、今後も新人勉強会を継続して取り組んでいく。増減点返戻状況改善はあまり見られないが、各担当医師への報告（フィードバック）を行い対策することによって、減点率・返戻率を改善していきたい。

## 【診療情報管理室】

【記入者】 安里 邦子

【人 員】 診療情報管理係長 1 人 副主任 2 診療情報管理士 3 人 一般事務 1 人

【概 要】 病院で扱う診療データは年々増加し、複雑化しており「モノの管理」を主とした時代から、診療データを一元的に管理し、それを利活用していくことが求められてきている。業務を行うにあたり、医学知識をはじめ幅広い知識の習得が必須となっており、学会・研修・勉強会等に積極的に参加し、チーム医療を行っていく上で必要とされる部署であるよう日々研鑽を重ねている。

平成 26 年 4 月より「診療録管理体制加算 1」取得

## 【主な業務内容】

- \* 電子カルテの量的・質的点検業務
- \* 診療記録（紙媒体）の保管等管理業務
- \* 各種学会、出版社などからのアンケート等に対する回答
- \* がん登録
- \* 医師やその他の部署から依頼される診療データ等の抽出・加工業務
- \* 個人情報保護に関する業務
- \* 診療記録等開示請求の対応
- \* 警察からの照会に対する回答
- \* 大学、専門学校からの実習生受け入れ
- \* 各種委員会・会議への参加
  - ・ 診療録管理委員会・パス委員会・オンコロジー委員会・個人情報保護委員会
  - ・ 死亡症例検討会・病院運営会議・診療部長会議

## 【目 標】

1. 退院時サマリーの退院時までの完成を目指す
2. 多職種によるカルテ監査の取り組み
3. 文書管理の整備（同意書の内容・様式の見直し）
4. 診療情報・統計資料の迅速な提供
5. 院内がん登録の充実
6. 長期署名システムの対象文書の拡大
7. 各種勉強会・研修会・学会等への参加

## 【2020年度の取り組み・実績】

1. 退院時サマリー  
作成件数 11,123件 退院日当日作成件数 9,046件 81.3%
2. 多職種による監査を実施し、結果を診療録委員会でフィードバックを行った
3. 監査項目の見直し（JCI認定基準 第7版への変更に伴う）
4. 文書管理の整備（同意書の内容・様式の見直し）＜継続＞
5. 診療情報・統計資料の迅速な提供
  - ・警察病歴照会 107件
  - ・カルテ開示（第3者面談含む）108件
  - ・患者統計リスト依頼件数 67件（医師からの依頼分のみカウント）
6. 院内がん登録の充実
  - ・令和2年院内がん登録件数 778件
  - ・全国がんへデータ提出
  - ・院内がん登録全国集計へデータ提出
7. 改善指標（QI）
  - ・部署指標「不備書類減少への取り組み」
8. 各種勉強会・研修会・学会等への参加
  - ・2020年度 院内がん登録実務初級者認定試験 2名
  - ・2020年度 院内がん登録実務中級認定者更新試験 1名

◎院内死亡率

診療科	退院件数	死亡件数	死亡率
内科	1296	111	8.6%
脳神経内科	0	0	
呼吸器内科	6	0	
消化器内科	956	50	5.2%
循環器内科	2250	102	4.5%
小児科	632	0	
外科	1484	62	4.2%
整形外科	1321	7	0.5%
形成外科	0	0	
脳神経外科	372	27	7.3%
心臓血管外科	343	23	6.7%
皮膚科	0	0	
泌尿器科	1291	14	1.1%
産婦人科	32	0	
眼科	173	0	
耳鼻咽喉科	0	0	
放射線科	33	0	
歯科口腔外科	472	0	
総合診療科	0	0	
血液内科	94	17	18.1%
疼痛治療科・ペイン	19	0	
救急内科	96	8	8.3%
救急外科	3	0	
全科	10873	421	3.9%

◎診療科別手術件数

診療科	件数
内科	46
消化器科	33
循環器科	887
外科	947
整形外科	1,434
形成外科	54
脳神経外科	118
心臓血管外科	194
皮膚科	72
泌尿器科	857
産婦人科	31
眼科	215
放射線科	58
麻酔科	3
歯科口腔外科	356
疼痛治療科・ペイン	76
救急内科	2
総合計	5,383

◎診療科別上位術式（上位5位まで）

1 整形外科

術式	件数
骨折観血の手術（肩甲骨・上腕・大腿）	190
骨折観血の手術（前腕・下腿・手舟状骨）	134
骨内異物（挿入物）除去術（前腕・下腿）	115
椎弓形成術	104
関節内骨折観血の手術（前腕・下腿）	74

2 外科

術式	件数
腹腔鏡下胆嚢摘出術	150
鼠径ヘルニア手術	85
腹腔鏡下虫垂切除術	68
胃瘻造設術	57
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	52

3 循環器科

術式	件数
経皮的冠動脈ステント留置術	317
経皮的中隔心筋焼灼術	199
四肢の血管拡張術・血栓除去術	127
経皮的冠動脈形成術	82
経皮的カテーテル心筋焼灼術	68

4 泌尿器科

術式	件数
経尿道的尿管ステント留置術	173
経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	80
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）	77
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	60
内シヤント設置術	56

5 歯科口腔外科

術式	件数
埋伏歯抜歯	277
抜歯手術（難抜歯・埋伏歯）	9
舌小帯形成手術	8
口蓋腫瘍摘出術	3
骨内異物（挿入物）除去術	3

## 【医局秘書】

部署長：高柳玲（課長）

人 員：常勤4名（うち産休2名）、非常勤2名

## 【医局秘書業務】

医師の勤務管理（Dr. JOY）：当直管理・外来診療体制表の作成、更新  
医局情報・当直表・外来表・PHS・入院担当表の電カル、ホームページへのアップ  
内科医・救急医と外来検査担当表と外科 Dr、週間予定表の作成、  
休診時の案内作成と配布・在宅 oncall 担当医作成  
訪問診療・主治医意見書の担当医作成  
医師の学会準備・講演会のポスター作製・県医学会学術集会の抄録の取りまとめ  
中部地区医師会からの住民健診応援調整  
学会・出張・稟議書等の電子稟議システム『Gear』申請  
離島応援時の日程調整とチケット依頼申請及び、PCR 検査の手配  
勤務記録表の作成（常勤 Dr・非常勤 Dr）・常勤・非常勤医師の個人ファイル作成・管理  
図書（洋書・和書）のチェックと整理・患者向け用の図書室整理  
業者・保険会社・福祉事務所（生活保護）と Dr の面談日程調整  
Dr 入退職の準備：必要書類の配布と回収、PHS・名札・机・本棚・ロッカー等の準備  
当直室と応援 Dr 用宿泊室の清掃・ベットメイキング  
離島救急自衛隊機医師添乗搬送（Dr. ヘリ）の日程調整と担当医作成  
新型コロナワクチン接種医師スケジュール調整  
医学部実習生の宿泊室・PHS・名札等の準備  
学校・幼稚園・保育所などの内科健診 日程調整→健診終了後 本部報告

目 標：医師業務負担軽減とメンタルヘルスケアに関連する業務の強化  
ワークライフバランスの促進・実施  
職員の各種講習会参加促進

2020年度の取り組み・実績：

業務内容、手順の見直しによる業務負担軽減と業務効率の向上  
職員の接遇向上  
グループ病院間の連絡調整の円滑化  
医師資格情報のアップデートと効率的な管理  
医局環境改善

## 【医師事務室】

部署長：辺土名 忍（課長補佐）

人 員：主任：1名 副主任：2名 医師事務作業補助者：27名 計 30名

概 要：医師の業務負担軽減を目的に平成20年4月より設立された部署である。主な業務内容として、医師の指示、確認の下に外来補助業務、文書作成業務（診断書等）データ登録業務を行い、事務作業の負担を軽減し、医師が治療に専念できるようサポートすることが目的である。

目 標：医師事務作業補助者として勤務するためには、6ヵ月間の院内研修及び、32時間以上の専門知識の講習が配置条件である。当部署では積極的に研修、勉強会へ参加し専門知識取得を目指している。  
さらに医師を含め他部署との連携も必須となるため、コミュニケーション能力の向上を図り、医師から信頼され求められる職員の人材育成を目標とする。

## 【2020年度の取り組み・実績】

### ■取り組み

#### [外来補助業務]

これまでの取組を維持しつつ、新型コロナウイルス感染症への対応として、ドライブスルー外来（DTH 外来）へ配置（2020年7月より開始）、また6東（新型コロナウイルス感染症陽性者病棟）、8東病棟（疑似症病棟）へ2020年9月より1名配置した。

#### [データ登録]

NCD登録、JACVSD登録、JND登録、CVIT登録、JCDTR登録、J-AB登録、泌尿器科NCD登録業務。JED登録継続。

#### [病棟業務]

サマリー作成補助、診療情報提供書、退院通知を含む退院支援業務を継続。

### ■実績

#### [外来補助業務]

検査オーダー・次回診察予約・入院指示など代行入力。

[文書作成業務]

文書作成件数：12,725 件（前年比▼1802 件）

返書作成件数：4,805 件

[病棟業務]

サマリー作成補助件数：2,177 件

診療情報提供書（転院調整時）：646 件

症状詳記：274 件

総文書件数：計 20,627 件（前年比▼2,300 件）

[データ登録業務]

NCD 登録・JCVSD 登録：1,170 症例

CVIT 登録：462 症例、JCDTR 登録：24 症例、J-AB 登録：240 症例

JND 登録：396 症例

泌尿器科 NCD 登録：619 症例

JED 登録：11,634 症例

## 【地域医療連携室】

部署長：東恩納亮（課長）

人員：事務職8名、クラーク4名、会計2名、渉外担当3名

概要：地域医療連携室は、患者様の紹介・逆紹介を中心に、地域の医療機関、保健福祉施設及び行政機関との連携・調整業務を担っています。また医療講演の企画・開催や訪問活動をとおして当院の取り組みや情報を発信しています。

1. 地域医療機関及び施設との紹介・逆紹介業務
2. 地域医療機関への情報提供・勉強会等の開催
3. 救急搬送業務連絡会の開催
4. 広報誌の発行（12回／年）
5. 医療機関・福祉施設・消防署・企業・各種団体等訪問
6. 院内及び院外での医療講演の開催
7. 返書管理
8. 地域連携に関する統計資料作成
9. 登録医情報の管理
10. 紹介患者様の外来・入院転院予約
11. 開業医及び保健福祉施設からの救急患者の受入調整
12. セカンドオピニオンの紹介・受入調整
13. 消防機関への提出資料作成

- 目標：1. 紹介件数及び紹介率の向上
2. 逆紹介件数及び逆紹介率の向上
  3. 医療機関・福祉施設・消防署・企業・各種団体等への訪問回数の増加
  4. 無料健康講座の実施回数及び参加人数の増加

2020年度の取り組み・実績：

紹介率・逆紹介率ともに前年を上回ることができたが、紹介件数・紹介からの入院数はいずれも減少した。

3密回避のため院内健康講座は中止、イオンモールライカム沖縄にて開催していた定例健康講座も中止となったため、9月よりオンラインでの講座実施に移行した。

◎紹介件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	638	817	1,246	1,227	827	991	1,386	1,208	1,199	1,068	1,112	1,320

◎紹介から入院

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	135	166	233	221	193	226	282	230	229	263	203	231

◎紹介率と逆紹介率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介	32.0%	31.5%	27.3%	28.0%	35.6%	32.0%	31.2%	31.8%	33.1%	31.3%	36.7%	34.8%
逆紹介	62.0%	36.9%	24.2%	46.1%	58.0%	34.1%	28.5%	25.6%	33.7%	37.0%	35.8%	37.0%

◎医療機関・施設・消防署訪問

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	14	82	131	134	152	168	168	156	182	147	160	123

◎企業・団体訪問

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	6	98	250	222	211	331	255	265	253	251	291	250

## 【無料健康講座】

### ◎定例健康講座（オンライン公開健康講座）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	0	0	0	0	0	38	79	112	129	159	121	165
講座回数	0	0	0	0	0	3	9	9	14	13	12	15
平均参加	0	0	0	0	0	12.6	8.8	12.4	9.2	12.2	10.1	11

### ◎院内健康講座

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講座回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### ◎院外無料健康講座

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	0	0	121	492	0	58	556	294	712	440	0	375
講座回数	0	0	5	12	0	4	16	14	19	16	0	23
平均参加	0	0	24.2	41	0	14.5	34.8	21	37.4	27.5	0	16.3

## 【DrCar事務局】

担当者：大城実（主任）

人員：医師4名、看護師8名、機関員4名

概要：ドクターカーは、沖縄市消防本部の管轄内で発生した救急救命処置事案に対して、消防及び病院が迅速かつ適切な救命処置を施し、相互の協力のもとに救命率の向上に努めることを目標として平成18年6月12日、沖縄市と「医療救護活動に関する協定書」を締結し、県内初行政側と医療機関と合同で救急活動に取り組み、病院の救急医療班によるドクターカー運用を本格的に開始しました。

1. 月曜日～金曜日（平日）9：00～18：00土・日・祝祭日を除く。
2. 活動範囲は、沖縄市一円を管轄する。
3. 出動要請は、消防本部指令室からの指令にて出動する。（消防無線と指令書で出動）他の出動については臨機応変に対応している。
4. 出動基準
  - 1) 心肺停止例（心肺機能停止も含む）重度外症例やこれらに準ずる重症例で迅速な救急救命処置を必要とする場合。
  - 2) 多数傷病者発生時の現場でのトリアージを必要とする場合。
  - 3) 各種事故など、救出に時間を要すると判断した場合。
  - 4) 「胸痛」または「胸部圧迫感」の訴えがあり、原因として冠動脈疾患が予想される場合。ただし、以下の場合は除く。
    - a. 傷病者が30歳未満と判明している場合。
    - b. 外傷が原因と判明している場合。
    - c. 「動悸」「呼吸苦」「胸やけ」等、他の胸部症状のみ判明している場合。
  - 5) その他、専門的な治療が必要と判断される場合。（建物火災等の逃げ遅れ等を含む）
5. 定期的に、消防と合同で訓練を行う。
6. 定期的に、消防と合同で勉強会を開催。

目標：①心肺停止からの社会復帰率の向上、②消防と顔の見える関係づくり  
③消防との合同訓練の実施、④消防との勉強会の開催

2020年度の取り組み・実績：

沖縄市消防との合同訓練は、9月・12月開催。

消防合同の勉強会は、コロナ感染症で中止。

症例検討会の救急搬送業務連絡会は、コロナ感染症で中止。

社会復帰件数及び復帰率は下記の通り。

◎ドクターカー出動詳細

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出動件数	2	5	12	7	0	0	0	14	20	17	15	16	108
ドッキング	1	3	7	4	0	0	0	9	10	10	7	11	62
現着引き上げ	0	1	2	2	0	0	0	4	7	4	6	5	31
途中キャンセル	1	1	3	1	0	0	0	1	3	3	2	2	17

◎社会復帰率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CPA件数	0	0	1	0	0	0	0	1	6	4	8	6	26
内処置件数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	5	12
内当院搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	5	9
蘇生件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
社会復帰件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
社会復帰率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	8.3

※2020年度社会復帰率・・・ 8.3%（1件）

## 【MSW・医療相談員】

人員：医療ソーシャルワーカー 9名（社会福祉士8名）

概要：MSWの業務は、病院において社会福祉の立場から入院患者の退院支援および相談対応、患者が地域や家庭において自立した生活がおこなえるよう関係機関との調整等を専門に行う専門職である。急性期病院では、治療が終了した患者を早期に社会復帰させるため、患者や家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る事が長期入院を防ぐため重要な業務となっている。

1. 療養中の心理的・社会的問題の解決調整業務
2. 退院援助
3. 社会復帰援助
4. 受診・受療援助
5. 経済的問題の解決調整業務
6. 地域活動

- 目標：1. 退院支援業務見直し  
2. ソーシャルワークの質の維持

2020年度の取り組み・実績：

コロナウイルス感染症の流行により、患者・家族と対面での支援が難しくなった年であった。相談支援は電話での対応を主としたが大きな支障はなく業務を遂行することが出来た。

また、11月より1名、半年間の離島応援（沖永良部島）に派遣した。育児休業中のスタッフも2名いたため、その間は6名での業務に当たる必要があった。業務配分にかかなり苦慮した年であったが、初めての離島応援の経験や、業務の効率化を検討するきっかけとすることが出来たと考える。

その他、中部地区連携研究会（パス会議）については中部地区の連携施設で、MSW部会、看護部会、医事部会、リハビリ部会にて集まり会議を行っていた。コロナ禍となってからは開催出来ていなかったが、12月以降は各施設協議のうえ、MSW部会のみ規模を縮小し再開することが出来た。

◎相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	52	27	43	52	50	54	55	27	21	41	21	16
入院	1493	1358	1751	1829	1595	1839	1786	1589	1539	1747	1369	1433

◎退院援助件数・介入率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	255	217	286	339	267	291	308	246	278	278	245	263
介入率	31.8	31.9	29.7	35.1	30.7	33.2	34.5	26.2	29.8	29.8	31.7	28.2

◎研修会等への参加

- 6月 読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議（WEB会議）
- 8月 沖縄市在宅医療・介護連携推進会議（WEB会議）  
読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議
- 9月 沖縄市在宅医療・介護連携推進会議（WEB会議）
- 10月 沖縄市在宅医療・介護連携推進オンライン研修会（WEB研修会）
- 11月 沖縄市在宅医療・介護他職種研修会（WEB会議）
- 12月 読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議
- 1月 沖縄市在宅医療・介護連携推進オンライン研修会（WEB研修会）
- 2月 読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議  
中部地区連携研究会（パス会議）

## 【健康管理センター】

記載者：大城美佐子（課長）

人 員：医師6名（常勤2名、非常勤4名）  
看護師6名（常勤4名、非常勤2名）  
一般事務10名（常勤9名、非常勤1名）  
検査技師4名（非常勤1名、兼任3名）  
放射線技師2名（常勤1名、兼任2名）

概 要：健診センターでは、地域住民・企業の健康診断・人間ドックを行っております。健診は病気の予防・病気を早期発見・早期治療が目的です。生活習慣病を防ぐ為にも成人病の原因となる生活習慣を改善して健康の増進に努めなければなりません。「国民の健康・生きがいつくり」を基本のテーマにこれから関わる健康事業に取り組んで業務を行っております。

◎健診の主な業務として

- 1) 特定健診
- 2) 企業健診
- 3) 胃がん・肺がん・大腸がん健診
- 4) 人間ドック
- 5) 脳ドック
- 6) フルドック
- 7) 婦人科健診

目 標：・受診者サービスの向上  
・市町村ドックとの連携を推進し予防医療に勤めていきます  
・時代のニーズを適確に把握し質の高い予防医療を提供します  
・地域の企業健診に貢献します  
・地域のニーズに円滑迅速に応える魅力ある予防医療サービスを提供します  
・待ち時間の低減

2020年度の取り組み・実績：

1. 特定健診・企業健診・市町村の人間ドック・企業ドックの受診者増
2. 閑散期（3～5月）企業早期受診勧奨及びキャンペーンの実施
3. 徳洲会職員の知人・友人のキャンペーン実施

4. 徳洲会職員家族の受診者増
5. 中部徳洲会職員受診率100%
6. 中小企業における健診の充実性
7. 医療講演の開催
8. 企業訪問
9. 新規事業所との契約
10. 待ち時間対策
11. 月、1回健診センターミーティング
12. アンケート調査
13. 二次健診の案内
14. 二次健診の追跡をする。(紹介状発送後未受診の方に対し受診促す。)
15. がんの統計

令和2年度の人間ドックの受診者数は(11150名)昨年と比較して(3260名)の減でした。コロナの影響で人間ドック・健診を縮小しながら行っていましたが、昨年、人間ドック・健診を受診できなかった方々に今年度は、地域・企業にも積極的に訪問し医療講演を推進していきたいと考えております。

人間ドック・健診は年に1回の受診を継続的に・・・!

病気の予防・早期発見・早期治療が目的ですので多くの方々に受けて頂くようこれからも皆様の健康管理にお役に立ちたいと思っております。

又、職員一同、責任と誇りを持って、健康増進の向上に努めて参ります。

待ち時間短縮のため温熱岩盤カプセル・アロマセラピーを導入したので受診者からも大変好評でした。

◎特定健診・健診・人間・脳ドック件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定	9	23	12	17	16	16	14	18	22	33	36	37
健診	91	82	137	119	118	728	180	157	128	208	328	309
ドック	298	436	851	967	926	998	1178	1005	1175	1055	1048	1212
合計	398	541	1000	1103	1060	1742	1372	1180	1325	1296	1412	1558

## 【国際医療支援部】

部署長：翁長 賢（係長）

人 員：通訳 6名（常勤） 対応言語 英語 4名、韓国語 1名、中国語 1名

概 要：国際医療支援部は年々増加する外国人患者の受け入れ体制を強化するため、平成2016年4月に設立された部署です。主な業務内容としては外国人患者の受診調整や受診時の通訳業務、書類の翻訳や院内表示の多言語化等の環境整備があります。また、国際的な医療機能評価機構 JCI※1及び外国人患者受入れ医療機関認証制度 JMIP※2の認証における事務局としての機能も有しています。

### ※1 JCI (Joint Commission International)

JCI とは 1994 年に設立された国際的な医療機能評価機構で、継続的な教育やコンサルテーションサービス、国際認証の提供を通じて、国際社会における医療の安全性と品質を向上させることを使命としています。

3年ごとに更新審査を受け、数多くの基準をクリアすることで再認証となります。各種書類、記録物の提出が求められ、継続的な改善ができていないかを厳しく確認されます。当院は、2017年2月に初めて JCI 認証を取得、2020年2月24日～2020年2月28日の計5日間にわたる厳密な審査を経て、JCI 認証の更新が認められました。

### ※2 JMIP (Japan Medical Service Accreditation for International Patients)

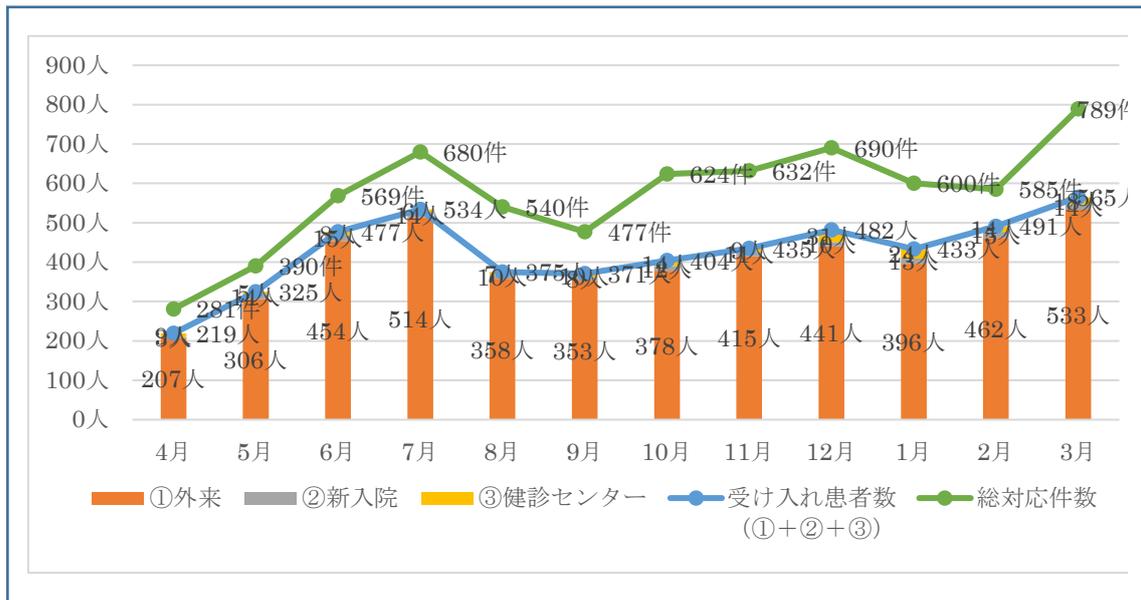
JMIP とは外国人患者受入れ医療機関認証制度のことで、訪日あるいは在留の外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の円滑な受入れ体制を一般社団法人 日本医療教育財団が中立・公平な立場で評価する認証制度です。

目 標：1. JCI基準の維持・改善による医療の質の向上  
2. 国際医療の推進

2020年度の取り組み・実績：

患者数

- ・総対応件数：6857件
- ・外来患者数：4817人
- ・国籍別患者数： アメリカ：2303人 その他：1000人 フィリピン：697人  
中国：569人 不明：394人 韓国：118人 台湾：30人
- ・新入院数：139人



対応別	2020年										2021年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
受け入れ患者数 (①+②+③)	219人	325人	477人	534人	375人	371人	404人	435人	482人	433人	491人	565人	5111人	
①外来	207人	306人	454人	514人	358人	353人	378人	415人	441人	396人	462人	533人	4817人	
②新入院	3人	14人	15人	14人	10人	8人	12人	11人	10人	13人	15人	14人	139人	
③健診センター	9人	5人	8人	6人	7人	10人	14人	9人	31人	24人	14人	18人	155人	
総対応件数	281件	390件	569件	680件	540件	477件	624件	632件	690件	600件	585件	789件	6857件	

国籍別	2020年										2021年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
アメリカ	146人	163人	231人	245人	140人	158人	166人	187人	202人	176人	211人	278人	2303人	
その他	34人	61人	93人	131人	86人	84人	100人	86人	85人	82人	78人	80人	1000人	
フィリピン	11人	40人	64人	65人	62人	59人	48人	70人	69人	64人	82人	63人	697人	
中国	5人	26人	42人	44人	44人	39人	48人	51人	88人	52人	61人	69人	569人	
不明	17人	29人	22人	31人	27人	24人	29人	29人	33人	45人	48人	60人	394人	
韓国	5人	5人	19人	14人	12人	5人	12人	10人	4人	11人	10人	11人	118人	
台湾	1人	1人	6人	4人	4人	2人	1人	2人	1人	3人	1人	4人	30人	
計	219人	325人	477人	534人	375人	371人	404人	435人	482人	433人	491人	565人	5111人	